

各地で開催される熱気球大会紹介

雪原の大会

おぢや
風船一揆

[開催期間] 毎年2月下旬の土・日曜日



・ 小千谷観光協会

真っ白な雪原にカラフルな熱気球が浮かぶ「おぢや風船一揆」は小千谷に春を呼ぶ風物詩。日本を代表する熱気球大会「日本海カップ・クロスカントリー選手権」を兼ねたイベントで、2月下旬に2日間にわたって開催されます。おぢや風船一揆が初めて開催されたのは1977年。

雪だるまコンテスト、
小千谷縮緬の雪さらし実演等も行われる

小千谷の名物
コシヒカリ・日本酒・へギソバ

桜祭りとの共催・・・熱気球渡良瀬大会(4月:栃木県栃木市茂木町) 渡良瀬遊水地:県境が日本で最も複雑に入り組んでいる地域



渡良瀬遊水地

面積の多くが栃木県栃木市に属し、残りは栃木県小山市、栃木県下都賀郡野木町、茨城県古河市(こが)、埼玉県加須市(かぞ)、群馬県邑楽郡板倉町に属する。

足尾銅山と渡良瀬遊水地
日本の公害闘争の原点といわれる足尾銅山
鉱毒事件の犠牲となった、谷中村廃村の歴史が刻み込まれている。
この遊水地は、明治23年(1890)の洪水以後、
渡良瀬川沿岸は、足尾銅山の鉱毒被害を受け、
大きな社会問題となり、鉱毒防止対策と利根川・渡良瀬川の治水を目的に、
谷中村を移転し、明治43年(1910)から大正11年(1922)にかけて藤岡町の台地を開削して渡良瀬川を赤麻沼に流し、
思川・巴波川の改修も行って築造された。



競技開始：一斉に気球に風を送り膨らませるシーンを上空から見る

5月の連休は佐久熱気球大会(千曲川スポーツ交流広場)

佐久市観光協会発行の冊子



The Saku Balloon Festival is the event during the Golden Week holidays in May, and it held at Chikuma River Sports Exchange Ground. The festival is a great chance to see the best teams of air balloon races participating from whole country in Japan, with the gorgeous landscape of clear blue sky and Mt Asama. Saku City hosts a variety of events related to the festival.The



佐久市オリジナルシェイプバルーン
「佐久の鯉太郎」

佐久のシンボル「鯉」をイメージし、胸、腹、尻びしを「つけて」目を表現した「佐久の鯉太郎」。口の中は、鯉のようにはびきりした舌をも表現し、その舌は元気よく青くてのほしいと、思いを込められている。



浅間の煙・残雪の八ヶ岳に湧く雲・新緑に萌える木々の揺らめきにさえ神経を注ぎゴールを目指す、それが熱気球競技。

目に見えない風を探して。

5月の連休中佐久の空にカラフルな熱気球の音が、各地の大会を駆け上り、各地の熱気球チームを決める熱気球レースが開催されている。佐久から開催されている佐久バルーンフェスティバル、全国から参加する選手たちが、パイロット達が目に見えない風を探して、浅間の煙、残雪の八ヶ岳に湧く雲、新緑に萌える木々の揺らめきにさえ神経を注ぎ、ゴールを目指す。それが熱気球競技なのだ。今から30年前、人類が初めて空を飛んだのは熱気球、そのころは「熱気球」の時代だった。佐久の熱気球フェスティバルは、その熱気球の歴史を今も伝える。佐久市観光協会の発行する「信州佐久」の熱気球の歴史を今も伝える。

熱気球

SAKU BALLOON FESTIVAL

The Events and Festivals in Saku City
祭り

佐久バルーンフェスティバル

(佐久平駅と会場を結ぶ無料シャトルバスの運行あり)
<http://www.saku-balloon.jp/>





ジャッジデクレアド・ゴールやフラインなどターゲットマーカーを使った競技が数種ある。ゴールには長さ10mの×印のターゲットが地面に設置してある。競技者はそのターゲットにむかってマーカーを投下し、最も中心に近いところにマーカーが着地した選手が1位となる。強豪チームになるとターゲットの中心から数センチ、場合によっては0センチのオンターゲットすることもある。この瞬間パイロットたちは、達成感と満足感につつまれる。観客席からは大きな歓声がわきおこる。



早朝、眠い目をすりすりながら会場に集ったパイロットと観客。パイロットは多く、音と共に気球が膨らみ、やがて海が切れた半月の空に色とりどりの花が咲く。正に百花繚乱、息をのむ美しさ。シャッター音が響き、人々は音が響くのを待たず、見上げ、青天の朝、晴る。会場で盛り上げられる光景。しかし会場へ向かっている間に、気球が1機も見えないことがある。そんな時は驚くほど、遠くに気球が見え始めやがて近づく。会場内のゴールに次々マーカーを投下する。気球競技を知るには、全パイロットを手にいれよう。全参加気球の名前、パイロット、顔写真を熱気球基礎知識から競技ルールまで載っている。このパンフレットを手にして観戦すれば、大会の面白さが倍増する。夜間保留バルーンリリースも必見だ。バーナーのアンウインドと同時に間く浮かび上がる気球は静かに風雨に弱く、競技飛行は気流

の安定している朝夕に行われる。そこで昼間も観客が練々なイベント体験を求めている。バイククラブやアウトドアショップも大入りだ。テントブースや出店を覗き歩きすれば、お祭り気分が味わえる。「子どもたちに感動を」をテーマにした係留気球体験登場。熱気球教室、魚の組み取り工作教室、麻作り等、各種の体験が用意されている。気球は子どもたちの夢と希望で膨らむと、心願を叶えてくれる。体験を通じて自然と触れ合い、非日常体験をした子どもたちの目は増々輝き、心のバルーンを大きく膨らませることができるよう。大も、重心に戻り体験も良し。また、街に出て旬の山菜と料理に舌鼓を打ち、中道の歴史を辿るのも興ざら。バルーンフェスタを大いに楽しみ、全身で感動を味わおうではないか。

文/角田昌男

テーマは「子どもたちに感動を」
子どもたちの心のバルーンを大きく膨らませてほしい。



熱気球教室などさまざまなアトラクション
気球の立ち上げ体験では、バスケットに乗り込み、バーナー操作もできる。その他にマッシュヨーやそば打ち体験、木工教室などいろいろなアトラクションで盛り上がる。



バルーンイリュージョンが一日の終わりを美しく彩る



What a fantastic at the Night!

Balloon Illusion

バルーンイリュージョン

例年5月4日夜7時から行われる夜の人気アトラクション。美しい夜空に輝くバルーンは幻想的で夢のようなひととき



釣り大会
例年3-4日、10時から行われるニジマス釣り大会。



The Events and Festivals in Saku City

祭り